



四季報

平成29年
3月1日発行
第9号

広報編集室 TEL : 029-879-7351 FAX : 029-879-7352 つくば市天王台1-1-1 筑波大学人間系(共同研究棟 A408)

『お台場使いやすさ調査』に参加して

今回、筑波大学・トヨタ特別共同研究の一環として、みんラボが「お台場使いやすさ調査」を行いました。「お台場」という名前は、1853年ペリーの黒船が来航したのをきっかけに江戸幕府が海防策の一つとして東京湾品川沖に砲台を造ったことが由来と言われています。そして、江戸幕府に敬意を払って、台場に「御」を付けて「お台場」と呼ばれるようになりました。現在も砲台の跡が残っています。

調査チームは5月15日8時にバスで筑波大を出発、10時にお台場に到着し、8チームを3コースに分けて、お台場を歩きました(左図参照)。



1. 赤コースは男子大学生3名の班と女子大学生2名の班の2班。東京ビッグサイト～日本科学未来館までのコースを調査。
2. 青コースはみんラボ男性会員3名の班と女性会員3名の班の2班。国際展示場～日本科学未来館までのコースを調査。
3. グレーコースは男性会員2名・男子大学生1名から成る班、女性会員2名・女子大学生1名から成る班、男性会員2名・男子大学生2名から成る班、女性会員2名・女子大学生2名から成る班の4つの班。日本科学未来館～ビッグサイトまでのコースを調査。

に休憩する木陰やベンチも数えるほどしかなく、不便でした。また、自動販売機やトイレもあまり目に入らず、目的地に着いた時にはとても疲れていました。

歩かなくても目的地に行けるように、新システムがあればスムーズに目的地に行けるのではないのでしょうか。高齢者からは、ゴルフ場で使うゴルフカートはどうだろうか、カートに内蔵されている目的地の番号を選択すると行きたいところに誘導してはどうだろうか、若者からは、セブウェイのような乗り物はどうか、どうだろうか? などたくさん意見が出て盛り上がりました。

お台場はあまりにも広すぎて、各施設を見学するのが大変でした。しかし、お台場には未来が感じられる沢山の施設があります。

例えば、「そなエリア」。ここでは直下型地震発生後七十二時間の生きる知恵を学ぶ体験ツアーが経験できます。また元宇宙飛行士の毛利衛さんが館長をつとめる日本科学未来館では、宇宙、太陽系、地球環境、そしてその中で、育まれる生命等、私達を取り巻く世界の仕組みを学べます。『今、世界に起きていることを、科学の視点で理解し、私たちがこれからどんな未来を作っていくか、ともに考える場所です。地球環境、宇宙の探求、生命の不思議を体験できます』(ガイドブックより)

ノーベル物理学賞の対象となったニュートリノ計測装置である「スーパーカミオカンデ」の模型は圧巻でした。

お台場は沢山の夢が詰まった施設がある街でもありました。(鶴川)



出入国管理システムの開発

海外に行くときは、どなたでも空港の審査官からの出入国審査を受けなければいけません。

現在、2020年東京オリンピックを目指し、日本人を対象とした出入国管理システムの自動化(機械化)が予定されています。このほどそのシステム構築の入札が行われました。実はこの2年間、みんラボも「より使いやすい自動システムを作るために」お手伝いをしており、その共同研究先が(みごと)落札をされました。

今回、皆様のご協力を得て「より使いやすい」自動出入国管理システムが日本で実現することになったことを「速報」としてここに報告いたします。詳細につきましては、また統報を出させていただきます。

(原田悦子)

第42回みんなラボカフェ



「みんなラボ音頭完成記念発表会！」

みんなラボ音頭の歌詞と曲が出来上がったことは前号(第8号)の広報でお知らせいたしたとおりですが、歌ができれば今度は、踊りを振りつけて「いよいよ踊りましょう」ということになりました。昨年9月の末、みんなラボ会員、事務局の方々、さらに先生にまで集まっていただき、踊りの習得に挑戦しました。振付は筑波大学大学院体育学専攻の佐藤文音さんをお招きして指導していただきました。佐藤先生の踊りを、見よう見まねで踊っているうちに、皆の調子にエンジンがかかり、民謡調でもあり、フォークダンス調でもあるような素晴らしいユニークな踊りが出来上がりました。その雰囲気を知ってもらうためにここに振付の写真を解説付きでお届けいたします。

今後あらゆる機会をとらえて、踊る機会を作りたいと思います。やはり踊らなければ良さはわかりません。「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにゃンソンソン」です。そのうちに機会をとらえて皆で「踊りましょう」のご案内が出ると思います。ぜひ一緒に踊りましょう。(根岸)

みんなラボ音頭会員の作品集

みんなラボ公式版 (落合・藤原編)

一、みんな集まれ みんなラボ
くらしの中から タカラを見つけて
年をとること楽しもう
みんなラボ音頭だ
しゃしゃんがしゃん

二、みんな集まれ みんなラボ
あの町この町 集って元気
地場の野菜を食べましょう
みんなラボ音頭だ
しゃしゃんがしゃん

三、みんな集まれ みんなラボ
遠足花見で わいわいしよう
私にないこと再発見し(みつけ)よう
みんなラボ音頭だ
しゃしゃんがしゃん
ぴんぴんゲンキで 楽しもう

作詞：田内版

一、みんな集まれ みんなラボ
くらしの中から 問題見つけ
老いと学徒で 学びあう
みんなラボ音頭だ
しゃしゃんがしゃん

二、みんな集まれ みんなラボ
つくばはよいとこ 学園の町
使いやすさを つくりつつ
みんなラボ音頭だ
しゃしゃんがしゃん

三、みんな集まれ みんなラボ
たまにみんなで わいわいしよう
旅行花見に 芋煮会
みんなラボ音頭だ
しゃしゃんがしゃん

作詞：柳井版

一、みんな集まれ みんなラボ
生活ツールを研究し
一緒に使って楽しもう
みんなラボ音頭で
しゃしゃんがしゃん

二、みんな集まれ みんなラボ
カフェで学んで
豊かな人生
みんなラボ音頭で
しゃしゃんがしゃん

三、みんな集まれ みんなラボ
年中行事を盛り上げて
皆でつなごう心の輪
みんなラボ音頭で
しゃしゃんがしゃん

作詞：根岸版

一、みんな集まれ みんなラボ
使いやすさはいろいろあつて
これを掘り出す金の山
みんなラボ音頭で
しゃしゃんがしゃん

二、みんな集まれ みんなラボ
ワイワイガヤガヤ皆の会
これがしかけよ 宝だよ
みんなラボ音頭で
しゃしゃんがしゃん

三、みんな集まれ みんなラボ
使いやすさはいろいろあつて
人世を動かす 知恵探し
みんなラボ音頭で
しゃしゃんがしゃん



3
【年をとること
楽しもう】
腰に手を当てながら、
片足ずつ前に出します



2
【くらしの中から
タカラを見つけ】
両手を頭の上にかざし
ます



1
【みんな集まれ
みんなラボ】
みんなおいでよ！とい
う気持ちを込めて、腕
を前から肩へぐっと引
き寄せます



5
【ぴんぴんゲンキで楽しもう】
全身で「健康(kenkou)」
の「K」を表現。
カッコ良く決めポーズ！



4
【みんなラボ音頭だ
しゃしゃんがしゃん】
隣の人と手を合わせま
す

11月24日、50数年ぶりという11月の初雪の中、みんなラボ遠足のバスは筑波大学を出発しました。数日前よりテレビの天気予報では爆弾低気圧により太平洋側に、雪が降ると騒いでいました。まさかとおもっていましたが、ここは北海道?と勘違いするほどの一面の雪景色です。

そんな雪の中でのみんなラボ遠足の始まりでした。大学関係者4人、みんなラボ会員18人とこのごんまりしたバスの旅となりました。まずは田中さんのあいさつに始まり、和やかなムードの中、大洗へと向かいました。めんたいパーク工場、辛子明太子の出来るまでをガラス越しに、係の人の説明を聞きながら見学しました。少々時間を待たせましたが、



ホールの片隅に骨密度測定器があり、みんな測定し、プリントされた測定値に、「骨スカスカ」だとか「Aランクだから安心」などとても賑やかでした。

いよいよ待望の昼食あんこう鍋です。ご馳走を前に待ちきれない顔、顔。乾杯の発声ではなく「いただきます」の発声でいっせいに箸を取り、昼食となりました。人はお腹が満た

されるといい顔になります。満足した顔で海産物のお店へとお買い物。それぞれお目当ての魚介類を手にバスに乗りました。帰りになんとお土産がありました。会員岡野さん宅のみかん、同じく会員沼尻さん宅のほうれん草です。バスの中では、漬物、柿の提供があり皆さんの温かい心遣いに感謝、感謝のみんなラボ遠足の旅でした。(落白)

みんなラボ遠足に参加して



幸せの黄色いレシート 運動にご協力を



いつも社会貢献活動の「幸せの黄色いレシート」にご協力をいただきましてありがとうございます。さて今回は11月11日(金)がみんなラボの宣伝日で、鶴川・落合・志田・田内・篠原の5名が参加いたしました。女性会員3名が力を発揮し、今迄以上にみんなラボの箱の中もレシートでいっぱいになりました。

今後の予定日ですが、毎月11日がイオンデーです。よろしくお願いたします。

さて、四季報7号でご報告させていただきましたイオンモールつくば店様より贈呈された48,900円の利用明細(下記)を掲載させていただきます。

(篠原・田内・落合・鶴川・志田)



・プリンター用トナー4個	45,878円
・コンセント延長ケーブル1本	540円
・パソコン用マウス1個	1,382円
・みんなラボカフェ用お茶ペットボトル4本	530円
・ご案内送付用封筒1パック	510円
・液状のり1本	159円
合計	48,999円



四季報

が置いてあるところ

■市役所・官公庁

- つくば市役所・関係部署
- つくばみらい市役所
- 牛久市役所
- 土浦市役所
- 守谷市役所
- 取手市役所
- 龍ヶ崎市役所
- 阿見町役場

■筑波大学及び病院関係

- 筑波大学
- 筑波大学付属病院
- 筑波メディカルセンター病院
- 筑波記念病院
- 筑波学園病院

■市・公共団体

- つくば市社会福祉協議会
- つくば市シルバー人材センター
- つくば市民大学
- つくば市民活動センター
- ふれあいサロン
- 阿見町中央公民館他
- 牛久市社会福祉協議会
- 牛久市シルバー人材センター
- 牛久市エスカードビル
- 牛久市生涯学習センター
- 牛久市ボランティアセンター
- 牛久市中央図書館

編集者紹介

【みんラボ会員】

根岸(編集長)、石津、石橋、今井、鶴川、落合、篠原、田内、柳井、吉村

【筑波大学大学院生】

田中、広瀬、池永、大塚、長谷川

【教員スタッフ】

原田、茂呂、葛岡、須藤、富田

【みんラボ事務局】

栗延、浜崎、松村、山田、宮代



事務局だより

みんラボ新事務所と新メンバー紹介

前号のみんラボ四季報でもお伝えいたしました
が、この9月、みんラボは筑波大学内へ移転しま
した。

筑波大学の構内は南北4km、東西1.5kmに広
がっています。移転先は大学本部棟近くの「共同研
究棟A」という建物です。建物の入り口にはみんラ
ボの看板があります。エレベーターで4階へ上がっ
ていただき、廊下を右に進んでいただいた奥の部
屋(408室)です。窓からの眺めもよく、気持ち
のよいお部屋ですので、ぜひ一度遊びにいらして
ください。

建物の場所がわかりにくい場合は、どうぞ遠慮
なくみんラボへお電話くださいね。

(電話:029-879-7351)

移転の後、ラボマネージャーとして浜崎藍さん・
松村富士子さんが、研究員として山田涼馬さんが、
みんラボの仲間に加りました。これを機に、み
んラボでは新規会員の募集にも力を入れています。
設立からは5年、今後もみんラボはパワーアップ
を続けていきます!

どうぞよろしくお願いたします。

(宮代)



▲408室・会議スペースの様子

編集後記

今日はつくばでは五十四年振りの十月の積
雪ということで、櫻の葉が散る前の積雪とな
りました。平成二十六年八月二十六日、みんラ
ボ四季報創刊号が発行され、今回は第九号と
なりました。2016年は、みんラボの新しい
事務所が筑波大学構内に移転し、みんラボ音
頭ができあがりしました。ご支援を深く感謝致
します。

これから超高齢社会がさらに進んでいくわ
けですが、我々自身の自立生活の維持のため
にも、みんラボでの使いやすさの追求がますます
必要となってきます。ぜひみんラボの仲間同
士、お互い助け合い、考えあっていきましょう。
ところで、2017年には四月二十六日から
京都で、第三十二回アルツハイマー病協会国
際会議が開かれます。これに関連して、認知症
の相談に関する情報をお伝えしたいと思ひ
ます。認知症の方々の介護の相談は、各自治体
の「地域包括支援センター」で受け付けていた
だけですが、ご家族が認知症の疑いがあるとき
の相談、また「認知症の人と家族の会」などにつ
いても紹介していただけます。参考にしていただ
ければ幸いです。

(石津)

お問い合わせ

みんなの使いやすさラボ

〒305-8572 茨城県つくば市天王台1-1-1 筑波大学人間系(共同研究棟A408)
TEL: 029-879-7351 (受付)月~金9時~17時
FAX: 029-879-7352 e-mail:mado@tsukaiyasusa.jp